

平成29年度 教員免許状更新講習シラバス

■講習名	学習指導要領の改訂の動向と様々な問題に対する組織的対応の必要性
■時間数	6時間
■受講対象者	全教諭
■担当講師	川崎 雅也（大阪府貝塚市立南小学校校長） 長谷川 重和（神戸親和女子大学発達教育学部教授）
■評価方法	2講習の筆記試験の成績により評価します。各講習の合計点が100点満点となる成績評価を行い、60点以上を合格とし、履修認定を行います。
■教材等	必要に応じて資料を配付する。

■講習の概要

「学習指導要領の改訂の動向等」「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の事項について、教員に求められている最新の知識・技能の習得と、今日的な教育課題についての理解を深めることを目指します。

講習Ⅰ 平成32年度から実施される予定の学習指導要領、平成30年度から始まる特別の教科道徳について

次期学習指導要領を概説し、その重点部分とこれからの教育活動のあり方について取り上げ、今後の改善点について考察する。具体的には、教育基本法、学校教育法と次期学習指導要領、幼稚園要領との関係性と平成30年度より始まる「特別の教科道徳」の時間の重点項目を講義し、「生きる力」をはぐくむという学習指導要領の理念を実現する事へと展開していく。

成績評価の観点

学習指導要領改訂の趣旨を理解し、学校の教育活動全体を通じた道徳教育及びその要となる道徳の時間における基礎理論のポイントをあげることができる。また、学習指導要領の理念に基づいた「特別の教科道徳」の指導のあり方の基礎的なポイントをあげることができる。

〔担当：川崎 雅也〕

講習Ⅱ 学校の内外における連携協力についての理解

多くの教育問題が発生している現状を踏まえ、実践例などを援用しつつどのように判断して対応すればよいかを考える。教職についての省察、子どもの変化についての理解、教育政策の動向、学校内外での連携協力などについて整理しながら、様々な問題に対する組織的対応の必要性や方策の理解を深める。

成績評価の観点

様々な問題に対する組織的対応の必要性について、学校内外での自らの役割と関連づけながら理解し、説明することができる。

〔担当：長谷川 重和〕